

	<p> きく6つの節からなる部門を設けて事業展開をしています。 これから、6つの節 ごとに進捗状況の説明をさせていただきながら、委員の皆さんの進捗状況に対する点検を頂きたいと思います。 皆さんにはビジョンに対する点検を頂きますし、このあと総合戦略の中間点検・効果測定に対するご意見も頂戴しますが、その他の計画に対するご意見、今実施している事業そのものに対する質問はご容赦頂きたいと思います。 </p> <p> ビジョンは10年先を見据えて KPI(重要業績評価指標)を設けています。この指標の是非についても、ビジョンの根幹にかかわることなので、将来的な要望としては承りますが、すぐすぐの修正は難しいことをご承知ください。 </p> <p> 令和2、3の実績と令和4年度の中間の数値が出ておりますので、これらを見比べてR12年度に向けたKPIの達成が現状で可能なのか、順調なのか、力を入れた方がいいのか、そういったところのご意見をいただければと思います。 </p> <p> (第1節 説明) 観光はコロナが影響し、数値が上がってこない。 </p> <p> (第2節 説明) 教育関係の国、県の数値は年度末になる。 スポーツの分野も大会が全て終わっているわけではないので数値は低い。 </p> <p> (第3節 説明) 人権教育の推進は9月末だが、11月末では40自治体以上が実施 </p>
平信委員	<p> 第1節 第1項 農林業の振興 新規就農者相談数は、相談は大事。これに対して就農した方はどうなっているか。担当課では就農者数の数値が分かると思うが。ここでは相談数だけを見ているか。 </p>
事務局	<p> ここは相談件数を載せています。担当課では新規就農を始められた方はある程度把握できています。が、代替わりのように公的な支援を頼らない方については把握が難しくなります。 </p> <p> 相談件数をもって、どれくらいの方が興味を持っておられるのか、はじめられないのはどういう原因があるのかということ、この相談件数をもってニーズ把握ができることにもつながります。 </p> <p> 平信委員さんのご指摘のとおり、就農者数が増えることも重要なので、担当課にはご意見があったことを伝えます。 </p>

平信委員	そうすると、協力員の方が居るが、その方々が受けた相談はここに入るか？
事務局	産業振興課や農業委員会に関連したもの、行政と繋がった数ならここに入ります。
金平委員	第1節 第2項 商工業の振興 町内企業への訪問数は行政が訪問した数か？
事務局	町が訪問した数です。
平信委員	関連で、北栄町内の企業数は？
事務局	商工会加盟 400社超。未加入事業者もあるので+ α 。 目標数値440社にしているので、おおよそその数値になります。
平信委員	10年かけて400件回るという目標？ペースアップをしたらどうか。 ここにハローワークからも委員が来ておられるが、もっとたくさん訪問しておられるのでは。
野上委員	ここにはコロナの影響も書いてある。訪問が難しいのでは。われわれが訪問するのは違うのかなと思う。ハローワークも以前と比べては企業訪問しているが。
平信委員	第1節 第3項 観光の振興 北栄町の観光事業 青山剛昌ふるさと館の事業は北栄町の誇りと言われて、重要視している。創設から10数年、約20年近く経つが、これに対する町の取り組み、商工会の取り組みをされているが、結果が出ていない気がして心配している。もっとスピード感を持って、「誇り」という言葉に合うよう取り組みを。ブロンズ像とかは確かに増えている。観光客もコロナの影響を受けているが。 私は11月にここで開催されたパネルディスカッションに参加した。施設は立派で集客も全国に比べて見劣りしないとパネラーが言っていたが、それに対して地元の賑わいが足りない気がしている。そのあたりの仕掛けを、町も商工会も地元も。目に見えた変化が見られないのが残念。
山柘委員	観光協会の山柘です。23年前に、何も無いところに「コナンのまちづくりを

	<p>やろう」と提案して、やってもらった事業。よく比較されるのは境港の鬼太郎ロード。あそこは街のなかに作られ、そこに境港の別の魅力が加わっている。北栄町は農業のまちといいながらも、集客にはつながっていなかった。今から3年前、コロナが始まる前は23万人の観光客があった。この数字はあくまで有料でふるさと館に入館された数。無料の客や周辺に訪れている数はそれ以上。ふるさと館は一生懸命やっている。私は隣のショップを持っているが、本当に多くの観光客に寄っていただき、感謝している。何も無いところからのスタートでよくやっていると思う。理解していただければと思う。</p>
吉田委員	<p>第3節 第2項 福祉の充実</p> <p>障がい者の福祉の充実の中に福祉施設がある。一般就労に繋がった件数が1件。できれば障がいをお持ちの方も「自分の地域で」という希望を持った方も多いし、就労の気持ちもある。できれば商工業のところに「イクボス・ファミボス宣言」があるので、この中に「あいサポート」を事業所に広げる取り組みをしていただきたい。</p> <p>⇒福祉・商工に提供。</p>
牧田委員	<p>第2節 第2項 子育て支援の充実</p> <p>調査の間隔には規定があるか？中間年(R7)の町民アンケートまで数値がないと評価しづらい。</p>
事務局	<p>ビジョンの中間年(R7)に合わせて設定されています。ただ社会が大きく変わってきている状況もあり、考えないといけない部分だと感じています。</p>
畔田委員	<p>第3節 第2項 福祉の充実</p> <p>いきいきサロンを全自治会に・・・以前からあったが、どの自治会も取り組んでくれたらと思うが、コロナで難しいかもしれないが、取り組みを増やすようにしていただければと思います。</p> <p>⇒担当課に伝えます。</p>
平信委員	<p>いきいきサロンに関連。上種は熱心な方がいたが、その方が高齢になられて次の世話人がおらず解体した。世話人がいない自治会が多いと思うので、同じサロンではなく何かの工夫をして、地元で世話をするだけでなく別の方法にも知恵を出して欲しい。</p> <p>⇒担当課に伝えます。</p>

金平委員	<p>第1節 第2項 商工業の振興</p> <p>補助の案内もせっかくだいいいものがあったら知らない。周知を商工会と連携して進めた方がいいと思う。そうすれば訪問件数も増える気がする。</p> <p>⇒担当課に伝えます。</p>
事務局	<p>(第4節 説明)</p> <p>環境や上下水などの生活インフラに関するところ。</p> <p>(第5節 説明)</p> <p>第2項の交流は新型コロナの影響を受けて進んでいない。</p> <p>(第6節 説明)</p> <p>財政に関するところ。</p>
杉田委員	<p>第4節第1項 環境にやさしいまちづくりの推進</p> <p>風車・風力発電の固定価格買取制度が終わったら使わないと聞いている。風車建設のときの検討会から携わっているので人一倍思い入れがある。確かに売電単価が下がり、維持管理費もかかる、騒音とも言われるが、直営でなくても風車を民間売却を含めて有効活用をできないか。</p>
吉田委員	<p>第4節第2項 インフラの整備</p> <p>CATVの加入率が7月末83.66%。今はCATVでなくてもテレビを見ることが出来る。若い人の加入はあるのか。83.66%が下がる可能性もあるのでは。</p>
事務局	<p>昨年からも下がっており、可能性はあります。若い方以外の転入もあり、CATVの宣伝はしっかりしています。</p>
吉田委員	<p>CATVに魅力がないと、なかなか加入率は上がってこない。</p>
事務局	<p>北栄町の場合は他社の事業参入が早くないので、CATVの普及率が高くて、情報発信として載せているが、今後を考えると情報化として考えていく必要があると思います。</p>
山根委員長	<p>そのほかにご意見がなければ、中間点検を行い、検討委員会として引き続きビジョンの取り組みを強力に進めていただくよう要請して協議事項(2)を終えたいと思います。</p>

(3)令和4年度(中間期)まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果測定	
山根会長	令和4年度(中間期)まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果測定について、最初に第1章 第1節～第4節を事務局より。
事務局	<p>まちづくりビジョンをもう少し掘り下げた形で挙げています。令和元年度の確定数値を基準にして、基本的な方向性には KGI を、具体的施策には KPI を設けて達成度合いを評価していただきます。</p> <p>この総合戦略は5年(令和7年)をゴールにしています。</p> <p>(第1章 第1節 農業の振興)</p> <p>年の中途なので数値が出ていないものがあります。</p> <p>(第1章 第2節 商工業の振興)</p> <p>令和3年度までの評価としてコロナの地域経済対策が進められました。</p> <p>(第1章 第3節 観光の振興)</p> <p>今年は観光客が動き出し、数値的にも戻ってきています。</p> <p>(第1章 第4節 環境・エネルギー施策の推進)</p> <p>本日ご欠席の石原委員からもご意見をいただいています。鳥取みらい電力さんの関係で中間の状況で R5年度からの切り替えに向けた準備が進んでいますが、電気料金は電力各社が値上げをしており、大変な状況であることを鑑みて、みらい電力がどのような対策をとられるのか、他の自治体連携はあるのかをお尋ねしたいとのことです。</p>
吉田委員	<p>第1節の農業の項目</p> <p>耕作放棄地が増えてきている。今後ますます増えるように感じている。補助金等も入ったハウスもあり、これら未利用分も含めて有効活用を。</p> <p>また、ドリーム農場のイチゴの部分当初の3名が1名減になっている。経営上の問題で人数確保が難しいための1名減なのか。</p>
事務局	<p>農業振興基本計画の見直しのタイミングでもあり、現計画中でも有効活用は議論してきています。また、放棄地が優良農地なのか、それとも原野に戻した方がよい場所なのかも含めて議論されますので、産業や農委にも声があったことを伝えていきます。</p> <p>それと、イチゴについては経営難ではなかったはずで、設備投資等で黒字化をしているので、隊員の事情だと思います。</p>
山柘委員	道の駅のこと。はわい～琴の浦と短い距離の中に大きいところが続く 大栄道の駅は大丈夫か、と感じる。農産物はいいが、レストランは心配がある。

平信委員	<p>道の駅の活用が不十分だと思う。せっかく「第1号」の道の駅なのに勿体ないと思う。隣には22万人も誘客ができるコナン館もあるのに、もっと拡大できるように知恵を出して、頑張ってもらいたい。</p> <p>イチゴの取り組み 広報12月号に第7期の決算で黒字になったとの見出しだった。寄附金の返戻が良かったことと、装置による結果、生育が良くなったと聞いている。町はプラットフォーム化ということで、イチゴの生産者が増えるようにと言ってきたが、気になるのは人件費(地域おこしを含めない)。決算に含まれない地域おこしの人件費もあってこそそのドリーム農場。これを見ずに、黒字と言えるか。担当課と詰めて欲しい。</p>
事務局	<p>道の駅に期待を寄せていただいていると思っています。町外からの買い付けもあり、魅力があるところには間違いないので、期待として伝えていきたいと思います。</p> <p>イチゴについても色々なところで話がされていることであり、皆さんの関心も高いことなので、担当課に伝えていこうと思います。</p>
杉田委員	<p>第2節の商工業</p> <p>(2)企業立地促進奨励金利用雇用者数は、中間評価が遅れている。その理由を教えて欲しい。</p>
事務局	<p>後程、お伝えします。</p>
杉田委員	<p>いや、私どもの企業もこれを活用している。いい奨励金だが、こちらから求めないとわからないと思う。こういう、いい補助金・助成金は町からもしっかり情報発信をして欲しい。</p>
事務局	<p>(第2章 第1節 子どもを産み育てやすいまちづくり)</p> <p>基本的方向の数値が令和7年度まで現れないこと。</p> <p>(第2章 第2節 未来をつくる教育の推進)</p> <p>こちらも成人式のアンケートで把握しているので、数値なし。</p> <p>また、一番下の不登校児の出現率も年度末になる。</p> <p>(第2章 第3節 移住定住の促進)</p> <p>(3)は数字の比較対象がないため、評価なしになっている。</p>
平信委員	<p>人口が減っていくシミュレーションがある。その中で、中央育英が廃止になる</p>

	<p>という話をきく。そうすると町内の生徒が倉吉に行ってしまう、ますます人口が減るのでは。気持ちの中でふるさとではなくなってしまう。仕方のないことかもしれないが、特色のある高校づくりを求める。今は様々な分野で頑張ることが求められる時代。かつては体育で、駅伝でも有名だった。特色ある人間づくりになる高校を求めたい。育英の取り組みとかが全然伝わってこない。もっと担当課で頑張ってもらって欲しい。</p>
事務局	<p>廃止は聞かないが、特色を求められる学校をとということで、高校も頑張っておられますし、高校も取り組んでおられるところです。平信委員も応援の立場だと思いますし、こちらに参加されている育英の西田先生も同じ方向だと思います。応援する立場で温かく見守っていただければと思います。</p>
牧田委員	<p>先ほどあった、人口減を捉えても、子育ての取り組みの充実を。色々な事業がある中で、子育てしづらい世の中になってきている。県も産後ケア事業に力を入れ、市町村も進めているが、北栄町は他の町と比べると弱い。智頭の方の助産施設まで小さいお子さんを連れて行かなければいけないような状況。もう少し近隣で体制整備していただくとか、病院に設置していただくとか環境の充実を。</p> <p>あと、こども園の入所待機児童数が0人。結果はそのように書いてあるが、北栄町の保育職員の配置が国基準よりはいいけど、実際には「配置職員が不足する」と書いてある。職員を増やすとか対策ができていない。考えていただけたら。</p>
山根委員長	<p>色々な意見を出していただいた。効果測定に関して必要な部分是对应いただき取り組みを進めていただくよう要請します。</p>

(4)第2次まちづくりビジョンの(一部)改訂について

事務局	<p>まちづくりビジョンの一部改訂について、資料3の表紙に記載のように、DXを加えていくものです。赤字の部分が加えられるようになります。小さい1文を加えていくことになります。具体的な部分はそれぞれの個別計画に盛り込むようになります。農業の分野なら「農業振興基本計画」といった具合ですね。皆さんにご了解をいただきたいこととして、皆さんにご承知いただきたいこととしては、このビジョンは議決を頂くものなので、表現が変わったりするかもしれませんが。一言一句同じになるとは限らないことをご了解ください。また本日ご欠席の長曾我部先生からもコメントをいただいているのでご紹介します。</p>
-----	--

	<p>「DXの追加に伴って情報の一元化やデータに基づいた意思決定は重要だと思います。職員や町民の情報リテラシーの向上や町民の理解も必要かと思っています。リテラシー教育と合わせて推進していただければと思います。」 皆さんのご意見を頂ければと思います。</p>
杉田委員	<p>P4のDXの説明をもっとわかりやすくできないか。書いてあることを理解しようと思ってもわかりにくい。何回読んでも頭に入らないので。</p>
事務局	<p>国資料では・・・ということなので、「デジタル化をすることで効率化を図っていく」ということが、文字になったときに分かりにくくなってしまいうことで、「デジタルを用いることで、より簡単に、便利になっていく」というイメージです。まったく様変わりするということではなく、非効率になるなら入れない方がいいことで、より便利になる部分にデジタルを入れていきましょう、という手法がDXになるということで、表現についてはもう少し。</p>
杉田委員	<p>今、仰った内容の方が分かりやすいと思う。</p>
事務局	<p>直していきます。</p>
山根委員長	<p>そのほかになければ、DXを加えるということで町に対して求めていきます。</p>
(5)第2期総合戦略の(一部)改訂について	
事務局	<p>先ほどのビジョン同様にDXを加えるものです。 が、ご意見があったとおりDXの説明についてはビジョン同様にわかりやすく修正します。 この総合戦略は、農業や商工業や観光や人口などを抜き出したものですが、ビジョンと同様にDXを加筆して、具体は各計画に委ねるものです。</p>
鶴田委員	<p>DXって、自治体も企業も取り組むところですが、イメージとして取っつきにくいな、と感じている。考え方を変えていけないといけない部分もある。 例えばこういった資料も紙からPCに変えたりできる。ホッチキスで留めたりする作業もなくなり、効率性もあがる。理解を得ながら、やっていただきたいなと思う。</p>
山根委員長	<p>まちづくりビジョン同様にDXを加えることを町に対して求めていきます。</p>

(6)その他	
山根委員長	そのほか、皆さんの方で何か。
平信委員	今日、委嘱を受けてから初めてこのような会があり、様子も知ることができた。非常に広い分野なので、後から「こういったことも聞いてみたかった」ということがあると思う。各委員も感じることはあるのではないか。 私もまだまだ言い足りない。町の最上位の計画を、このような簡単な形で済ませていけないし、年度末に1回やって終わりでは意味がないと思う。 是非検討して欲しい。皆さんはどう考えるか。
事務局	これまでは年度末に会を開き、報告をして終わっていたと思います。年度末の点検をしても予算も決まっており、何にも繋がらないので、今回から中間の取り組みを点検し、年度末も実施するスタイルにしました。 次につながるような会であるべきだと思いますので、皆さんもよろしくお願いいたします。
山根委員長	以上で会を閉じたいと思います。

※コロナ禍で書面開催(令和3年度末)され、回答が十分集まらなかったということがあった。
(委員が役目を果たしていない)回答がないことを残念に思う。交代される委員の皆さんはしっかり引き継ぎをして欲しい…という要請があった。